

■市民ふれあい座談会での意見要望一覧(令和8年7月21日、栖本地区)

No.	ご意見など	回答
1	以前も質問したが、せっかくの機会なので本日出席の皆さんへのアナウンスになればと考え、質問させていただきたい。住家の背後地ががけ地に隣接していることから、住宅移転に係る補助制度等について、ご教示いただきたい。	【建築住宅課】 配付したチラシに基づき(配付して)説明。 がけ地近接等危険住宅移転事業については、建築住宅課まで、土砂災害危険区域(レッドゾーン)に係る移転事業については土木課までご連絡いただきたい。
2	観光推進について、インスタとかで倉岳山頂の天空の鳥居が盛り上がっていて喜ばしい。ただ、アクセス道である小ヶ倉線は幅員が狭く、離合が難しい箇所があり、交通量の増加に伴い、事故等の危険が心配されている。地域住民にとっては日常生活において欠かせない道路でもあることから、道路幅員の拡幅や駐車場の整備などについて要望したい。若い世代からも意見があっているところ。よろしくをお願いしたい。	【馬場市長】 本件については、十分理解している。県外からの来客も多いので、離合箇所を増やすこと等の必要性を検討している。道路幅員を拡げることについては限界があるが、現道に対してどんな対処をすべきか。アイデアを寄せ、ニーズに対応できるよう検討し進めていきたい。
3	地元の建設業者として、昨年度被災した災害復旧工事を受注し復旧に努めている。限られた人間で出来る限り対応している。今年度中にと想着進めているが、事業完了は不可能ではないかと思っており、事故繰越など、工期を長く取ってもらうなどの対応をお願いできないか。	【野崎副市長】 現段階で、事故繰越などの話はできないというのが現状であり、予算繰越に係る回答については控えさせていただきたい。年末または年度末にかけて財務省等との協議等を要してくる動きになるかと思うのでご理解いただきたい。
4	天草の未来について人口減少、特に高卒者など若年層への対策として、大学や専門学校の設立をお願いしたい。世界に誇れる天草陶石に関して学べる専門学校や、天草出身の鶴田一郎氏、小山薫堂氏、高浜寛氏など知名度のある方を講師に、学べる社会大学のようなものを作ることはできないか。10分の1でも残せるのではないかと考える。 水産高校は県内に一校しかない。天草市の特徴である水産については、衰退しないように振興策をお願いしたい	【馬場市長】 市長に就任した1期目に、大学の誘致・設立に向けた検討をした。しかし、日本全体で子どもの数が激減している背景から、国の方針として大学の新設などが認められない状況となった。現在は高校卒業後の学びの場として、デジタルハリウッドの学びができる「デジタルハリウッド天草」を誘致することができた。 また、これまで12の大学と連携協定を締結し、フィールドワークなど様々な活動を展開しており、種を撒いている。子どもたちが一度天草を離れても、そこで学んだものを活かせる、そして帰りたくなる天草を作っているところ。茨城大学では、天草学(天草版地方創生に基づく)のカリキュラムを設定して取り組んでもらっており、私も一講座を担わせてもらっている。
5	今回の本渡清掃センターでの爆発事故について聞きたい。 ①事故に起因したごみ搬入は、業者持込分か個人収集分か。 ②持ち込みの地区は分かるのか。 ③復旧時期はいつごろか(分かっているか)。 新たな清掃センターの完成時期はいつになるのか。	【馬場市長】 ①、②については不明であり、③については未定となっている。 新たな清掃センターは、順調にいつて令和14年度完成、供用開始を目指している。
6	5年ほど前に防災行政無線でおくやみ放送が中止となった。個人情報等の理由があつてのことかと思うが、LINEなど何か代替の伝達手段を考えてほしい。 難しいのは分かるが、考えてほしい。	【馬場市長】 防災行政無線の本来の目的(防災等)と異なるため、お悔やみ情報には使用できない。近年、お悔やみ情報の公表を希望される方も減ってきている。また個人情報をスマホなどで送ることはできない。 ラジオ、ケーブルテレビ、新聞を活用して情報発信を行っているため、そちらで確認していただきたい。